

ゆきペドーシックサービス 片岡 友紀さん

Profile

アメリカでインソールの製作を学び、日本国内に数人しかいないという米国足装具士「ペドーシスト」と日本の国家資格「義肢装具士」を併せ持つ。幼少の頃から自身も足の痛みを抱えていたため、的確なヒアリングと創意工夫でお客様の悩みや困りごとに寄り添い、改善に導いてくれる足と治療靴の専門家。2021年3月に自宅に作業場を設けて開業し、市内のクリニックからの紹介者や、直接訪ねて来る人たちのインソールづくりに励んでいる。



自分も痛みを知っているからこそ、
磨いてきた技術を活かして足にぴったりで
快適なインソールを提供していきたい

起業までの道のり

もともと自分の足が外反母趾の変形や扁平足で痛みを抱えており、ずっと靴で悩んでいたことからこの仕事を始めました。静岡で会社員をしていましたが、所沢にある「国立障害者リハビリテーションセンター」の義肢装具学科に入学するために試験を受け合格し、3年間通いました。その入学試験準備と並行してアメリカの学校にも通い、座学と実習を経て現地の国家試験に合格しました。

卒業後に就職した会社では、外部の病院に出張して義足や装具を製作していましたが、自分が本来やりたかったことはアメリカで習得した技術を活かしたインソールづくりでした。国内でそれを行うには日本の

「義肢装具士」の国家資格が必要であったため取得しました。その後インソール製作会社に入り首都圏で3年ほど、静岡に戻ってきて9年ほど勤めていました。静岡での作業は、お客様と直接対話ができますが、ものづくりの面での自由度がなかったため、製作を含めて総合的により深く関わっていきたくと考え、また、自分の技術や経験を活かすためにも起業しようと決断しました。

起業で大変だったこと

会社に所属している時と違い、自分で始めるということは全責任が自分にあります。事業として「よしやって行ける!」という確信を得るまでに、やはり時間がかかり、ここが一番大変だったと思います。元々自分でやりたい気持ちはあったものの、よいものを提供できるという確信や目途がつくまでには10年ほどかかりました。勤めている時には手元に材料や機械もなく、自分で作ったものを試してみたくても工夫することすらできなかったため、それも大変だったことのひとつでした。そういったことを少しずつ乗り越え、いよいよ自分でやると決意して、作業場を設けるために日本政策金融公庫で融資を受けました。

起業後の現在ではインソールを作って、外反母趾・扁平足である自分の足で履き心地を試し、違和感を確



かめて修正するということを繰り返すことができ、自分の技術や経験も伴ってきたのではないかと思います。それはお客様とのやり取りにも反映され、「よかった」と言ってもらえることで徐々に自信に変わっていると思います。

起業してよかったこと

現在は1つの総合病院と3つの個人病院(整形外科)と連携していて、保険を使ってインソールを作りたい人のニーズに応えています。自費で作る人や、作った後のフォローなどは作業場に直接来てもらっています。自分で試行錯誤できること、お客様と相談しながら工夫できることが自由で、開業して本当によかったと思います。出来上がったインソールをお客さんに渡すまでは毎回とても不安ですが、使ってもらって「自分にぴったりだ」と喜んでくれると安心します。地域の中で連携できる病院を、もっと増やしていきたいです。

これからの夢や目標

腰痛だったり、足にうおのめ、たこ、痛みがある人の中には、いろいろな所を回ってここに来る人もいます。市販のシューズをあれこれ試し、スポーツメーカーでインソールを作り、それでも改善しないケースもあり、その先どうすればいいか分からずに困っている方もいます。インソールを使うことで快適な生活を送れることも多いと思います。ただ、値段も安くはないのでなかなか自分の足のために投資するという決断ができないことも多々あると思います。長い時間をかけて、結局たくさん投資して、移動して…という苦勞をせずに、1回で自分のところに来ていただけるように、ペドーシストのつくるインソールをみなさんに知っていただければうれしいです。ですが個人差があるので、足のカウンセリング後により手応えを感じても「絶対よくなります!」と言えないのが、もどかしいところです。

もどかしいことといえば、インソール製作後のお客様の様子が変わりづらいことです。今後も製作後の調整やフィッティング、その後のお困りごとなどをしっかりフォローするために、お客様と継続して関わっていけるようなシステムを作っていきたいです。



製作面でいうと、インソールをつくる最初の工程で、型取りした足の石膏モデルを修正し、天日で3-4日乾かすという作業をしています。この作業は大きな電気オーブンを使えば1日もかからずにできます。お客様にたくさん来ていただき、足を診てインソールを作っていくとなると、作業スペースだけではなくもう少し大きい施設が必要になっていくと思います。

エフドアをこれから利用する人に

エフドアには先に父が事業の相談に行っていて、親切でありがたいと思っていました。父について行ったのが最初でしたが、自分の起業相談の際にはいろいろな選択肢を示してくれて、それが分かりやすくてとてもよかったです。融資の件でも日本政策金融公庫と引き合わせてもらい、提出書類の作成もサポートしてもらいました。いろいろな可能性を教えてくれるので、悩んでいることがあったらまず相談してみてください。行けばいろいろな「ドア」を開けてくれます。

ゆきペドーシックサービス

住 藤枝市高柳1557-4

☎ 054-631-6681

✉ footpedorthics@gmail.com

Instagram

<https://www.instagram.com/yukipedorthicservices/>



Instagram ▶